



環境報告書
2016



Creation & Harmony
SK-Electronics CO., LTD.

「自然との調和」 *Harmony*



コンテンツ

ごあいさつ	02	社内環境活動	05
環境への取り組み	02	社会貢献活動	06
環境活動の歩み	03	環境保全活動	08
環境管理組織	03	今後の取り組み	08
環境マネジメントへの具体的取り組み	04	会社概要	08

編集方針

この「環境報告書」は、当社が地域社会の一員として環境保護の責任を担い、これまで取り組んでまいりました環境保全活動ならびに社会貢献活動の内容や成果をご紹介しますことで、当社の「環境」に対する考え方を皆様にご理解いただくことを目的に作成いたしました。

ごあいさつ

エスケーエレクトロニクスは「創造と調和」を経営理念としています。「創造」とは常に積極的に新しい価値創造に励み、社会の求めるより良い製品をご提供するという意味です。

「調和」とは、社会との調和、**自然との調和**、そして人との調和を大切にした企業活動により社会的責任を果たすという意味が込められています。

この経営理念に基づき、当社の環境理念である「常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。」を策定いたしました。

地球の限りある資源のもとに事業活動を行う当社は、環境負荷低減や環境保全のために、その事業の成果をもって貢献する責務があり、また環境問題への取り組みは企業価値向上につながる重要な企業活動の一つであると考えています。

今後は、社会の求めるより良い製品をご提供するとともに、地球環境保全や環境負荷低減に貢献し、環境理念である「自然との調和」の実現を目指してまいります。



代表取締役社長

環境への取り組み

当社では、環境経営を実践していくうえで重要なシステムとなる環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を、2002年に京都工場で、2011年に滋賀工場で取得しました。

また、環境理念に基づく6つの環境方針を策定し、掲げた環境目標を達成するために環境管理体制を整備して、社員一人ひとりの環境意識向上に取り組んでまいりました。

地域社会とのコミュニケーションも重要な取り組み課題の一つと考え、事業所周辺の身近な地域社会における環境保全活動ならびに社会貢献活動を地域の方々とともに進めております。

今後は、後ほどご紹介申しあげます社会貢献活動や環境保全活動の継続ならびに充実を図り、当社が果たすべき社会的責務に積極的に取り組んでまいります。

経営理念

「創造と調和」

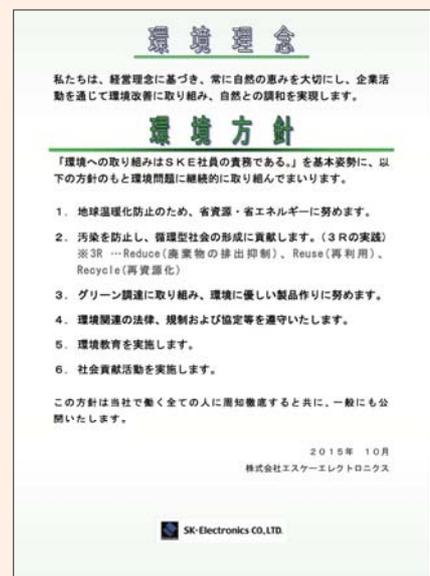
環境理念

常に自然の恵みを大切にし、企業活動を通じて環境改善に取り組み、自然との調和を実現します。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため、省資源・省エネルギーに努めます。
2. 汚染を防止し、循環型社会の形成に貢献します。(3Rの実践)
3. グリーン調達に取り組み、環境に優しい製品作りに努めます。
4. 環境関連の法律、規制および協定等を遵守いたします。
5. 環境教育を実施します。
6. 社会貢献活動を実施します。

※3R・・・Reduce(廃棄物の排出抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)



環境活動の歩み

2001年	10月	株式会社写真化学より分社し、株式会社エスケーエレクトロニクス設立
2002年	9月	京都工場でISO14001認証取得
2005年	5月	本社、京都工場での周辺地域清掃活動スタート
2006年	8月	本社前の戻橋児童公園へベンチ5脚寄贈 京都市より感謝状授与(2006年9月)
2007年	11月	社会福祉法人への支援活動を開始(京都工場)
2008年	6月	京都工場の所在地である久御山町内の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	8月	京都市、NPO法人、企業のハイブリッド組織で「水源の森づくり」活動に参画
	10月	「水源の森づくり」京北町の合併記念の森にて北山杉の第1回間伐作業に参加
2009年	3月	「水源の森づくり」第2回間伐作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣2カ所の幼稚園に「緑のカーテン」を新たに設置
	7月	京都工場地域環境活動として、「木津川下津屋橋(通称:流れ橋)付近地域清掃」を実施
	11月	本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施 発展途上国の子どもたちにワクチンを贈るため、ペットボトルキャップの収集を開始 滋賀工場の敷地の一角に農園を設け、野菜の栽培を開始
2010年	2月	関西盲導犬協会への支援活動を開始
	3月	「水源の森づくり」植樹作業に参加
	5月～10月	京都工場の近隣3ヶ所の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
	10月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
	11月	「水源の森づくり」京都市右京区鳴滝音戸山にて竹林清掃活動に参加
2011年	5月～10月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
	9月	滋賀工場でISO14001拡張認証取得
2012年	3月	「合併記念の森 記念式典」と「森づくりパートナーによる植樹」に参加
	5月～9月	京都工場近隣の3ヶ所の幼稚園へ「緑のカーテン」を設置
2013年	11月	滋賀工場にて「ひのきが丘企業会」主催の「環境美化の日」清掃活動へ参加
2014年	5月～9月	本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置
2015年	12月	第7回本社地域環境活動として、「堀川周辺地域清掃」を実施
2016年	4月	第1回滋賀工場地域環境活動として、「琵琶湖外来魚駆除大会」を実施
	5月	第8回京都工場地域環境活動として、「近鉄大久保駅周辺地域清掃」を実施
	5月～9月	昨年に引き続き本社近隣の幼稚園に「緑のカーテン」を設置

環境管理組織

- 当社では、社長を最高責任者として環境保全活動に取り組んでおります。
- 社長の命をうけた環境管理担当役員のもと、環境委員会を設置しています。
- 環境委員会で企画、検討を行った取り組みについて、スムーズに実施するために環境委員会は各職場代表で構成しています。
- 社員は環境委員会のもと、環境保全活動に取り組みます。

環境管理組織図



環境マネジメントへの具体的取り組み

環境目標

環境3カ年計画の実績

第1期 (2002年9月期～2004年9月期)

第1期は、CO₂削減と廃棄物削減に取り組みました。CO₂削減(売上原単位※)は、2001年9月期の実績値から20%削減の目標としましたが、2004年9月期には、23%の削減を達成しました。

廃棄物削減については、2001年9月期から40%削減の目標としましたが、3年間で51%の削減をすることができました。

※売上原単位…エネルギーの使用量/売上高

第2期 (2005年9月期～2007年9月期)

第2期の計画は、引き続きCO₂および廃棄物削減に取り組むと共に、水、電力、燃料、排ガス消費の削減を目指しました。

CO₂削減の結果は、2004年9月期の実績に対して15%削減の計画でしたが、新工場建設による設備増加のため、残念ながら2007年9月期には7%増になりました。

しかし廃棄物削減は、2004年9月期から30%削減の目標に対して2007年9月期には90%削減を達成し、大幅な削減となりました。

第3期 (2008年9月期～2010年9月期)

第3期は4つの目標を立てました。まず、グリーン購入率は目標の95%を目前にして達成することができませんでしたが、今後は維持管理を行い購入率の推移に変動がないよう取り組んでいきます。事務用品購入量は、15%削減の目標に対して大きく上回る数字で目標を達成しました。コピー用紙購入量の削減は目標を達成できなかったため、次の3カ年計画では再度目標に掲げて削減を推進することといたしました。故紙・ダンボール排出量は、目標に対してわずかにオーバーしましたが、今後は維持管理を行い排出量が増加しないよう取り組むことといたしました。

第4期 (2011年9月期～2013年9月期)

第4期は具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減、エネルギー使用量削減(原油換算)の3つの目標掲げました。残業時間の削減については、毎年3%、3年間で9%の削減を目指し、最終的に11%の削減を達成しました。コピー用紙の削減・エネルギー使用量削減については、毎年2%、3年で6%の目標に対し、コピー用紙は電子決裁システムの導入やミスコピーの撲滅活動等により3年間通算で19%の削減、エネルギー使用量はエレベーター等省電力設備の導入や節電意識の高揚により14%の削減を達成することができました。

第5期 (2014年9月期～2016年9月期)

第5期は、「改正省エネ法」に対する全社的な取り組みを重点課題として、エネルギー使用量削減(原油換算)を目標に設定しました。第4期で目標に挙げていた具体的施策による残業時間の削減、電子決裁導入などによるコピー用紙の削減については廃棄物排出と同様に維持管理項目としました。実績の詳細については、5ページに記載のとおりです。

京都工場

●エネルギー使用量削減

京都工場では、「改正省エネ法」の計画目標にリンクさせ、3か年計画でエネルギー使用量の毎年1%削減(3年間でトータル3%の削減)を目標に掲げました。

目標に対する施策として、社員の節電意識の高揚を引き続き図るとともに、エレベーターの省エネタイプへのリニューアル、自動販売機の省エネタイプ化、誘導灯・トイレ・駐車場照明のLED化等を実行しましたが、2016年9月期の実績については、3か年計画3年目の目標としてのトータル3%削減に対して1.9%の削減と、目標未達成に終わりました。

滋賀工場

●エネルギー使用量削減

滋賀工場では2013年から3か年計画で、エネルギー使用量基準年度比毎年1%削減の目標を掲げ、初年度・次年度は目標を達成し今年度は3年目となりました。今年度は前年から引き続き行っていた活動を更に強化することにより、目標達成を目指しました。

生産装置増設・新倉庫棟建設によりエネルギー使用量は、対基準年度で1.3%削減にとどまり、3年目の目標を達成することはできませんでしたが、これからも省エネ活動を進めてまいります。

社内環境活動

●滋賀農園

滋賀工場では2年前より、社内環境活動の一環として、滋賀工場の敷地内の畑で野菜を育てています。社員が自ら野菜の収穫を体験し、トウモロコシの収穫イベントでは“取れたて”を直接味わうことで、自然の恵みの素晴らしさを知る活動となりました。



ジャガイモの収穫体験



焼きトウモロコシ祭

●環境講演会

環境月間である6月の1ヵ月間において、環境保全の意識を深めるための活動として、各拠点で環境講演会を実施しました。

本社：「京都市のゴミ減量・リサイクルの取り組み」

京都市は、政令指定都市の中でもゴミ減量への取り組みが早かったこともあり、家庭ゴミの量は政令指定都市最少の1日1人当たり429gを実現しているとお聞きしました。今後もゴミ減量に貢献できるよう、各人で意識していきたいと再認識した講演会でした。



本社にて

京都工場：「希少野生生物をとりまく環境について」

京都府の生物多様性関連組織のお話から始まり、レッドデータブックの紹介、希少種対策と活動、今後への課題という流れのレクチャーで、動植物との共存を考えさせられる環境講演会となりました。



京都工場にて

滋賀工場：「びわ湖の葦を守る」

毎日多くの水を使用している滋賀工場を有する企業として、琵琶湖の水質浄化作用などに効果のある葦を守る活動があるということに関心を持ちました。各地で行われている様々な琵琶湖の環境保護活動に進んで参加していきたいと考えさせられる講演会でした。



滋賀工場にて

●「おおさかATCグリーンエコプラザ」見学

2016年2月、環境委員会メンバーで「おおさかATCグリーンエコプラザ」を訪問しました。環境活動に取り組む企業や団体の最新情報を紹介している常設展示場です。

大きく分けて、各企業による環境関連ビジネスの紹介と、自社での環境に対する取り組みが紹介されていました。環境に対する取り組みの他社事例を参考にすることはもちろんですが、各企業のCSRに対する取り組みのPR方法についても大変参考となりました。

この訪問内容は「環境社内報“SKEECO”」で全社員に紹介し、環境意欲の高揚を図りました。



おおさかATCグリーンエコプラザ入口



環境関連ビジネスの紹介



企業のCSR取り組みPR

●ほりかわ戻り市

当社では、個人で不要となった物や未使用品を無償で提供し、それらを必要としている社員に譲渡する「ほりかわ戻り市」というリユースイベントを毎年開催しています。引き取り手がなかった出品物については、環境保護団体(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン、地球環境基金)に寄付しており、人にも環境にも優しいイベントとなっています。

毎年好評で2011年から開始して今年で6回目となります。社員への認知度も上がってきており、積極的な参加が増えてきました。この活動を通じて、社員が身近なところから環境活動に興味を持ち、少しでも循環型の社会づくりに貢献できればと考えています。



社会貢献活動

●緑のカーテン

「緑のカーテン」はツル性植物を建築物の外側に生育させることにより、植物をカーテン代わりにして、効率よく日光を遮りエアコンの消費電力を削減します。また植物の花や実が成ることにより植物の成長を園児の皆さんに体感してもらい、身近な緑に関心をもってもらうことを目的としています。

今年は、本社近くの京都市立みつば幼稚園にゴーヤ、スイカ、メロンなどを植え付けさせていただきました。幼稚園の職員の方々や園児の皆さんにもご協力いただき順調に育ちました。幸いなことに天候にも恵まれ果実は立派に育ち、園児の皆さんに喜んでいただけました。今後も社会貢献活動に取り組んでいきたいと思います。



園児も一所懸命!



順調に生育する緑のカーテン



おいしそうなスイカ



立派なゴーヤ

●エコキャップ運動

社会貢献活動の一環として2009年より「エコキャップ運動」を進めています。この運動はペットボトルのキャップを外して集め、リサイクル業者に売却し、キャップの再資源化で得た売却益により発展途上国の子どもたちにBCGやポリオワクチンを贈ることで「再資源化」「CO₂の削減」だけでなく、「社会貢献」にも寄与することを目的としています。

本社・京都工場・滋賀工場の3拠点へ回収ボックスを設置した結果、2015年10月から2016年9月までに集まったエコキャップは**9,950**個でした。これにより**約6人分**のポリオワクチン購入が可能となり**78.36kg**のCO₂が削減できました。

今後も引き続き社会貢献の一環として「エコキャップ運動」に取り組んでいきます。



● 第7回本社地域環境活動「堀川周辺清掃活動」

本社付近の地域環境活動として、堀川周辺の清掃活動を続けており、7年目の今回は2015年12月に清掃を実施しました。会社の休日での活動に、社員の家族も含めた多くの参加者が集まり、ボランティア活動を行いました。

堀川周辺は、古くからのお寺や神社が多く、日本国内のみならず、世界各国からも観光客が訪れる地域ですが、堀川通は京都市内で最も車幅の広い南北の通りでもあり、残念ながらタバコの吸殻や空缶のポイ捨てがまだまだ多く見られます。

私たちの清掃活動により、少しでも街がきれいになったことで、地域の市民の方から「ご苦労様、ありがとう。」とのお声掛けをいただいたことは、参加者の誇りであり支えでもあります。今後も環境意識を高めるとともに、清掃活動を続けてまいります。



本社玄関での集合写真



小さなお子さんも真剣にゴミ拾い



穏やかな天気の中での清掃活動

● 第8回京都工場地域環境活動「近鉄大久保駅周辺清掃活動」

環境保全活動と地域貢献を目的に、今年も近鉄大久保駅周辺の清掃活動を実施しました。2016年5月、お子さんを含め22人が参加しました。5月とはいえ夏日のような暑い日に汗をかきながらの活動でした。

大久保駅から、西ルートと南ルートに分かれて清掃しました。空缶やペットボトル、タバコの吸殻などのポイ捨てがまだまだ多いのが残念でしたが、この日回収したゴミの分は確実に街がきれいになりました。

同じ日時に他のボランティア団体も清掃活動を行っていたこともあり、収集量は、3.9kgと、例年より少なめでしたが、同様の活動が広がって嬉しいことでした。環境意識を高めるために、今後も継続して活動してまいります。



大久保駅バスターミナル前での集合写真



大久保駅から西へ



大久保駅から南へ

● 第1回滋賀工場地域環境活動「琵琶湖外来魚駆除大会」

今年から滋賀地域での環境イベントとして「外来魚駆除活動」を始めました。

2016年4月、琵琶湖博物館から南へ1kmほど行った湖岸緑地において琵琶湖の生態系を環境保全するために「外来魚駆除大会」を開催しました。

参加人数は、29名でご家族での参加が多くお子さんたちも楽しく外来魚の駆除をされていました。餌をつけ投入すると、ものの10秒でブルーギルが釣れる状態で、わずか1時間半で駆除数は306尾と大きな成果を得られました。

参加者からは、楽しく琵琶湖の環境保全ができて良かった、また次回も参加したいという声がたくさん出ていました。今後も滋賀環境イベントとして継続的な開催を行いたいと考えています。



琵琶湖畔での集合写真



釣り上げたブルーギルとブラックバス

環境保全活動

● 太陽光発電システム

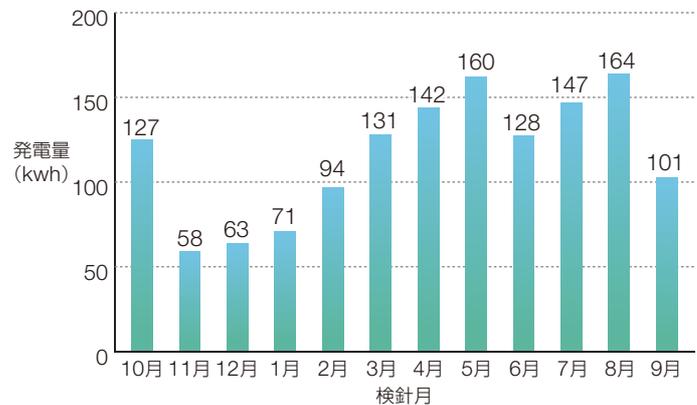
京都工場では、「クリーンエネルギー」である太陽光を利用した太陽光発電システムを導入し、環境保全に貢献しています。今期の発電量は、以下のとおりでした。

今期の積算（2015年10月～2016年9月）

検針月	月次積算量(kwh)	総積算量(kwh)
10月	127	14,832
11月	58	14,891
12月	63	14,954
1月	71	15,026
2月	94	15,120
3月	131	15,251
4月	142	15,394
5月	160	15,555
6月	128	15,683
7月	147	15,831
8月	164	15,995
9月	101	16,097
合計	1,386	16,097

※総積算量については、2005年1月からの積算量

太陽光発電積算量(kwh) ■ 月次積算量(kwh)



今後の取り組み

当社は、社会が求めるより良い品質で環境に優しい製品を提供するとともに、環境負荷低減や環境保全に貢献し、環境理念である「自然との調和」を実現するために以下の取り組みを実践していきます。

① 環境マネジメントの実践

具体的な取り組みとして、これまで実践してきた「環境教育」を今後も継続的かつ積極的に実践し、社員の更なる環境意識の向上を図ってまいります。2013年10月からは、「新・環境目標3ヵ年計画」がスタートし、新たな目標を設定して目的や効果を十分に理解しながら達成に向けて取り組んでまいりました。

② 社会貢献活動の実践

毎週定期的に行っている本社・京都工場周辺の清掃活動は12年目を迎えました。また、本社近辺での堀川周辺地域清掃や京都工場に訪れるときに利用する近鉄大久保駅周辺の地域清掃を実施しております。全社で行なっている「エコキャップ運動」、「関西盲導犬協会への支援活動」も継続していきます。

地域社会の皆様とコミュニケーションを図りながら、新たな社会貢献活動への参加や、ご要望をいただいている取り組みに積極的にお応えしてまいります。

③ 環境保全活動の実践

滋賀工場を有する当社では環境保全活動の一環として、新たに滋賀県での実践活動として、「琵琶湖外来魚駆除の日」に合わせて行われているブルーギル・ブラックバス等の外来魚駆除を行う活動へ参加しました。今後も新しい活動を検討することにより、社内の輪を広げたいと考えています。

会社概要

社名	株式会社 エスケーエレクトロニクス	SK-Electronics CO., LTD.
設立	2001年10月1日	
本社住所	〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2	
事業内容	大型フォトマスク製造販売	
資本金	4,109,722 千円	
従業員数	321名(2016年9月30日現在)	



株式会社 **エスケーエレクトロニクス**
www.sk-el.co.jp

本 社 〒602-0955 京都市上京区東堀川通り一条上ル豊富田町436番地の2
TEL. (075)441-2333(代) FAX. (075)441-4291